

- 問1 企業が資金を調達する仕組みのうち、銀行などの金融機関による仲介を介さず、証券市場を通じて投資家から資金を調達する方法を何といいますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 間接金融 | 2. 消費者金融 | 3. 公的金融 | 4. 直接金融 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問2 個人が資金を運用する手段のうち、銀行などの金融機関が資金の貸し手と借り手の間に入って資金を融通する「間接金融」に該当するものはどれですか。 (2026年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|----------------|-----------|-------------|
| 1. 地方自治体が発行する地方債の購入 | 2. ふるさと納税による寄付 | 3. 銀行への預金 | 4. 企業の株式の購入 |
|---------------------|----------------|-----------|-------------|
- 問3 企業が事業を行うために必要な資金を調達する仕組みのうち、銀行などの金融機関が貸し手と借り手のなかだちとなり、資金を融通する仕組みを何と呼びますか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 信用創造 | 2. 市場経済 | 3. 間接金融 | 4. 直接金融 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問4 家計や企業の間で資金を融通し合う金融の仕組みにおいて、銀行などの金融機関が、預金者から集めた資金を企業などの借り手に貸し出す方法を何と呼びますか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|---------|---------|---------|
| 1. クラウドファンディング | 2. 株式投資 | 3. 直接金融 | 4. 間接金融 |
|----------------|---------|---------|---------|
- 問5 景気が過熱して物価が上がり続けるインフレーションを抑えるため、日本銀行が行う金融政策について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|--|
| 1. 日本銀行が民間金融機関に国債を売却し、市場に出回る通貨の量を減らす。 | 2. 日本銀行が民間金融機関から国債を買い取り、市場に出回る通貨の量を増やす。 | 3. 日本銀行が所得税や法人税を増税し、公共投資を縮小させることで景気を抑制する。 | 4. 日本銀行が政策金利を引き下げ、企業が資金を借りやすくすることで生産を促す。 |
|---------------------------------------|---|---|--|
- 問6 日本銀行が「買いオペレーション」を実施した際に生じる、経済への影響についての説明として、背景や因果関係が正しいものはどれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 市場の資金供給量が減少し、金利が上昇することで、物価の上昇を抑えてインフレーションを防ぐ。 | 2. 民間銀行の資金が不足し、金利が上昇することで、家計が貯蓄を増やし消費が抑制される。 | 3. 市場の資金供給量が増加し、金利が低下することで、企業の設備投資や個人の住宅購入が促される。 | 4. 通貨の流通量が制限され、金利が低下することで、円の価値が急激に高まり輸出産業が活性化する。 |
|--|--|--|--|
- 問7 景気が悪化している局面において、市場に流通するお金の量を増やして景気を刺激するために、日本銀行が行う金融政策の内容として最も適切なものはどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|----------------------------------|---|--------------------------------------|
| 1. 日本銀行が市中銀行から国債を買い入れ、代金を支払うことで市場の資金を増やす。 | 2. 財務省が所得税などの増税を決定し、家計の消費を抑制させる。 | 3. 金融庁が各銀行に対して、企業への貸し出しを厳格に制限するよう命令を出す。 | 4. 日本銀行が市中銀行に対して国債を売却し、市場から資金を吸い上げる。 |
|---|----------------------------------|---|--------------------------------------|
- 問8 ある銀行において、預金者が受け取る利息の割合が年二パーセント、銀行が企業に資金を貸し出す際の利息の割合が年八パーセントに設定されているとします。このとき、銀行が主な収益として得ているものはどれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 企業が株式を発行した際に、投資家から徴収する販売手数料 | 2. 日本銀行から景気対策として支給される補助金 | 3. 企業から受け取る利息と、預金者に支払う利息の差額 | 4. 預金者が口座を維持するために銀行へ支払う管理費用 |
|--------------------------------|--------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
- 問9 日本銀行は、景気が過熱して物価が急激に上昇するインフレーションを抑える必要があるとき、金融政策を実施します。このとき、日本銀行が市場の通貨量を調整するために行う具体的な行動とその仕組みの説明として、適切なものはどれか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|-------------------------------------|--|
| 1. 一般の銀行に国債などの有価証券を売却し、市場に流通する通貨の量を減らす | 2. 日本銀行の窓口で一般市民に直接、低金利で資金を貸し出し、購買力を高める | 3. 電気料金やガス料金などの公共料金の認可を差し止め、物価を抑制する | 4. 一般の銀行から国債などの有価証券を買い入れ、企業への貸し出しを促進する |
|--|--|-------------------------------------|--|
- 問10 不況（景気後退）の際、日本銀行が景気を刺激するために行う金融政策について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、市場に流通する通貨供給量を減らすことで、物価の上昇を抑える。 | 2. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、市場に流通する通貨供給量を増やすことで、企業などへの貸し出しを促進させる。 | 3. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売り、市場に流通する通貨供給量を減らすことで、企業の設備投資を抑制させる。 | 4. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売り、市場に流通する通貨供給量を増やすことで、消費者の購買意欲を高める。 |
|--|---|---|--|
- 問11 日本銀行が「発券銀行」として、日本銀行券を独占的に発行し、その流通量を管理している最も大きな目的は何ですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 国民が自由に紙幣を印刷できるように、技術提供を行うため。 | 2. 一般の銀行の利益を最大化するために、金利を固定するため。 | 3. 政府の財政赤字を埋めるために、必要なだけ紙幣を増やすため。 | 4. 世の中の通貨の量を調整することで、物価の安定を図るため。 |
|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
- 問12 不況の際、日本銀行が国債の買入れを行う理由として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|--|
| 1. 市中から通貨を回収して金利を上げ、行き過ぎた景気の加熱を抑えるため。 | 2. 政府の税収を増加させ、公共事業に使うための資金を直接調達するため。 | 3. 政府に代わって減税を実施し、個人の消費支出を直接増やすため。 | 4. 市中に出回る通貨量を増やし、企業や個人が資金を借りやすくして経済活動を活発にするため。 |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|--|
- 問13 商店街の活性化を目的としたメモの中に、「銀行からの融資を受けて設備投資を行う」という資金調達の方法が記されている場合、この仕組みの説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|------------------------------------|---|---|
| 1. 銀行が預金者から集めた資金を、銀行の判断と責任で企業などに貸し出す方法である。 | 2. 企業が株式や社債を発行し、投資家から直接資金を募る方法である。 | 3. 寄付金を募り、特定のプロジェクトに対して不特定多数の個人が資金を供出する方法である。 | 4. 地方公共団体が発行する地方債を、住民が直接購入して資金を提供する方法である。 |
|--|------------------------------------|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 直接金融	資金の出し手である投資家と、受け手である企業が証券市場を通じて直接やり取りする形態を指します。銀行が預金者から集めた資金を企業に貸し出す形態は「間接金融」と呼ばれ、これと対比される概念です。
問2	答え 3 銀行への預金	銀行への預金は、預けられたお金を銀行が自身の判断で企業などに貸し出すため、貸し手と借り手の間に金融機関が介在する間接金融の代表例です。一方、株式や債券の購入は、資金の出し手が直接、発行元（企業や自治体）に資金を供給するため、直接金融に分類されます。
問3	答え 3 間接金融	家計などの貸し手と、企業などの借り手の間に、銀行などの金融機関が介在して資金をやり取りする仕組みを指します。金融機関がリスクを負って資金を管理し、なかだちとして機能することが特徴です。
問4	答え 4 間接金融	預金者と企業との間に銀行などの金融機関が介在し、資金を仲介する仕組みを指します。預金者は銀行に資金を預け、銀行がその資金を自らの責任で企業に貸し出します。これに対し、企業が株式や社債を発行し、投資家から直接資金を調達する仕組みは直接金融と呼ばれます。
問5	答え 1 日本銀行が民間金融機関に国債を売却し、市場に出回る通貨の量を減らす。	景気が過熱している際、日本銀行は中央銀行として通貨の流通量を調整する役割を担います。日本銀行が保有する国債を民間銀行に売却すると、その代金として民間銀行が持つ現金が日本銀行へ吸い上げられます。これにより市場を流通する通貨量が減少し、銀行の貸出金利が上昇するため、企業の設備投資や個人の消費が抑えられて景気が沈静化します。この一連の操作を「売りオペレーション」と呼びます。
問6	答え 3 市場の資金供給量が増加し、金利が低下することで、企業の設備投資や個人の住宅購入が促される。	日本銀行が買いオペレーションを行うと、民間銀行が持つ資金に余裕が生まれます。資金の供給が増え、お金を借りる際のコストである「金利」が低下します。金利が下がれば、企業は新しい工場を建てるための資金を借りやすくなり、個人もローンを組んで住宅を買いやすくなるため、社会全体の景気を上向かせる要因となります。
問7	答え 1 日本銀行が市中銀行から国債を買い入れ、代金を支払うことで市場の資金を増やす。	不況の際、日本銀行は「公開市場操作」の一つとして、民間の金融機関（市中銀行）が保有する国債などを買い取る「買いオペレーション」を行います。これにより、銀行が貸し出しに回せる資金が増え、世の中に流通するお金の量が増加することで、金利が下がり経済活動が活発になることが期待されます。
問8	答え 3 企業から受け取る利息と、預金者に支払う利息の差額	間接金融を中心とする銀行の主な収益源は、預金金利と貸出金利の差（利ざや）です。預金者には低い利息を支払い、企業などにはそれよりも高い利息で貸し出すことで、その差額を自社の利益や経費に充てています。提示された数値の例では、六パーセント分が銀行の収益の基礎となります。
問9	答え 1 一般の銀行に国債などの有価証券を売却し、市場に流通する通貨の量を減らす	物価の上昇を抑えるために、日本銀行は市場に出回る通貨の量を減らす「売りオペレーション」を行います。日本銀行が持つ有価証券を銀行に売ること、代金として銀行側の手元資金を吸い上げ、世の中に出回るお金の量を制限し、景気の過熱を和らげます。公共料金の認可は政府が行うものであり、日本銀行の権限ではありません。また、日本銀行は一般市民との直接取引は行いません。
問10	答え 2 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、市場に流通する通貨供給量を増やすことで、企業などへの貸し出しを促進させる。	不況時には世の中にお金が行きにくくなるため、日本銀行は「買いオペレーション」を実施します。これは日本銀行が民間銀行（市中銀行）の保有する国債を買い取ることで、その代金として大量の通貨を市場に流し込む仕組みです。その結果、通貨供給量が増加して金利が下がり、銀行が企業や個人へお金を貸し出しやすくなるため、景気の回復が期待されます。
問11	答え 4 世の中の通貨の量を調整することで、物価の安定を図るため。	もし紙幣が際限なく発行され、世の中に出回る通貨の量が多すぎると、お金の価値が下がり物価が上昇するインフレーションを招く恐れがあります。逆に少なすぎると不況の原因になります。日本銀行は「発券銀行」として通貨の供給量を適切にコントロール（金融政策）することで、お金の価値を安定させ、経済が円滑に回るようにしています。
問12	答え 4 市中に出回る通貨量を増やし、企業や個人が資金を借りやすくして経済活動を活発にするため。	不況時に日本銀行が国債を買い入れると、代金が市中の金融機関に支払われることで通貨量が増加します。これにより金利が低下し、企業や個人が資金を借りやすくなるため、投資や消費が促されて景気が回復へと向かいます。
問13	答え 1 銀行が預金者から集めた資金を、銀行の判断と責任で企業などに貸し出す方法である。	銀行からの融資は「間接金融」に分類されます。この仕組みでは、銀行が預金者から預かった資金をまとめて管理し、審査を通じて貸付先を決定します。資金の出し手である預金者は、自分の預金がどの企業に貸し出されるかを直接選択することはありません。これに対して、株式の発行などで資金を集める方法は「直接金融」と呼ばれます。